

テーマ別A：駅前活性化 「目指すべきイメージ・将来像」の共有 → 成果につながる具体的な取り組みをできることから

第1回A

- 駅前地区の街歩き
- 昔のこと、現在のいいところ、困ったところは

共通の情報を
持つ／テーマを共
有する

■昔のこと

活気・コミュニティ・賑わいがあった／子供の声／元気な商店街…etc

■現在のいいところ

広場のイベントがたくさん／魅力的な飲食店／解放感がいい／イベント風景や賑わいが良い／ベンチが多い…etc

■現在の困ったところ

ロータリー不十分／暗い／ミスマッチ／若者が遊ぶ場所・手段ない／駐輪・駐車場ない／自転車専用道路ない／今は緑があった方がよい／整然としすぎ／駅前コンビニなく不便／グレー／ベンチで過ごす高齢者／広場に屋根なく、雨はイベント中止／タ方市復活／水復活…etc

*いいところの発見も、でも、ハード面の課題指摘がたくさん。(課題指摘や改善提案は「目指すべき将来像」にむけた要素のひとつではあるけれど)

第2回A

- 駅前でやってみたいこと、コンセプト(宿題)
- 20年後は？想像以上に変わってる？

将来のイメージ
を考える

■やってみたいこと(宿題)

週末・季節イベント／ホールを作る／図書館を作る／緑と水ある場所に／多世代交流／相談、情報の場／居場所、たまり場、サロン、コミュニティカフェ、語らいの場／見守り・啓発／楽しく／省エネ／駐車場立体化／ロータリー改善…etc

■コンセプト(宿題)

ちょっと見に行こう／人が集まる洋光台／水と緑／たすけあう街づくり／わたしの洋光台／多世代交流／スマートシティ／省エネ／明るさと美しさ／楽しさ／みんなの広場／防災／お年寄り美しく…etc

■変わって欲しくないもの

静かな品の良さ／ゆとりある雰囲気／明るく犯罪ない街／ドトール／病院／けやきの木／つながり／駅機能…etc

■変わって欲しいもの

多世代交流のなさ／街の色／木／ロータリーと駐車場…etc

■新たに欲しいもの

健全な場／顔の見える場／企画での交流／タ方市復活／本屋／移動、コミュニティ図書館／イベント／噴水／手軽な場／行政出張所／温泉／温水プール／せせらぎ公園／人がとどまる、屋根のある場…etc

*イベント・交流・見守り等のコミュニティ活動、交通機能の改善、省エネ、商店の活性化など求める内容は盛りだくさん。
*WSで全てのテーマを考えるのは無理。WSの進め方・メンバーに適したテーマはなんだろう。

第3回A

- 目指したい将来像を一言で(宿題)
- ワークショップでできるテーマをしぼる(基本的機能→付加価値・魅力)

将来のイメージ
を共有し、テ
マをしぼる

■将来像を一言で(宿題)

あたたかく／たのしく／なごやか／顔見知りの街／すべての人がやさしくとけ合い育ち合う町／ほほえみ香る洋光台／笑顔が輝く洋光台／やすらぎの街洋光台／ジョイフル洋光台／ハピネスソウル洋光台／コミュニティ商店街／安心して暮らせる街／商業大型店と複合型商業店誘致／多目的ホールの設置／公共設備の充実／交通アクセス整備…etc

■洋光台らしい○○○→必要な

○お金／政治／URの工夫

○よどむ(集まる・とどまる)コミュニティカフェ／行政のランチ機能／飲食の場(夜も)／スポーツ／広場に畑／体験型の工房…etc

■洋光台らしい雰囲気

○サンマルコ広場

シンボル(塔を教会に)／噴水／せせらぎ／洋光台らしい樹と花／音風景をつくる…etc

○高齢者が綺麗に見える

ハイカラ／きれいなベンチ／発表の場／パラソル／花と水／妖精(ヨーポポ)…etc

*人の雰囲気が共通の将来像となりそう。でも、具体的なイメージを言葉だけで表現するのは難しそう。
*洋光台らしさも言葉で表現するのは難しそう。具体的な場所を決めてアイデアを出す中から洋光台らしさが見えてくるかも。

第4回A

- 集うイメージをつくる
- たたずむイメージをつくる

■役割・雰囲気

○駅前広場

○北側広場

○南側広場

Cyoiアクションパート3？

事例見学もありかも？

テーマ別B：コミュニティの活性化・多世代交流 全体像の共有 → 具体的な進め方を考える → 成果につながる具体的な取り組みをできることから

第1回B

- 参加者各自の自己紹介
- 若者と交流する方法は？

お互いを知る／
共通テーマを意
識する

■自己紹介・一言

何かできることを／何かできる／助け合いを／ネットワークを／仲間ができることが嬉しい／つながって何かをし仲良く／住んでいるだけで顔見知り／幸せと一緒に考えて／色んな人と／核／子供や人の集まりが好き／創造の世界は楽しい／紙コミ／絆／ふるさと／集ってつながれば近づく／場でつながる／友達が増えたら／一緒に楽しく／集まる場を／誇れるまちに／お金を使わず楽しく暮らす／

■若者との交流するには

若者を知る／共通のテーマ／絶えず発信／へこたれない／真剣なお祭りは子供達に伝わる／場所とお金／子供達は教えてくれる／人の役に立ちたいと思っている／学びと図書を結ぶ

*洋光台への思い、意欲が非常に高い皆さん
*若者と交流するには、こちらから若者に近づく(行動を知る／声をかける)積極性

第2回B

- 若者と交流できる、会話出来る環境はどういう場所・活動？

継続的な多世代
交流のしかたを
考える

■若者も行きたくなる場

○自由に使える場(時間・空間)
／夜に、友達と行けると場

カフェ／図書館／夜も営業の店／音楽スタジオ／情報が集まる場／友達のいるところ／興味の場…etc

■若者も参加したくなる活動

○新しい伝統／企画参加・共同

自己表現活動／認め合う活動／若者が企画、運営できる活動／やりがい、役割／お祭り／ライブ／若者の知識を披露する活動／スポーツサークル／ダンス…etc

■実行したいこと

○若者に声かけ／伝統となるお祭り／洋光台ブランド

まんがネットカフェ／ライブ／ダンスイベント／『Cafe もざいく』／カフェバー／情報基地／音楽、ファッション、踊りの融合／高校に声かけイベント…etc

■実行するときの具体的な空間イメージ・続ける方法

続けるには運営費の捻出／多世代運営／楽しいスタッフミーティングをこまめに…etc

*若者が自由に行動できる場をつくり一緒に行動する
*洋光台らしさ、魅力(伝統・ブランド)をつくり若者を引きこむ
*自由に行動できる場も様々、洋光台にどんな魅力があれば？

第3回B

- ワークショップのメンバーで、今、実行できる多世代交流を考える
*実践してみるのも一つの方法

ワークショップ
に実践を加えて
学ぶ(準備)

■今、実行できること

●『まちの人探検』

(情報収集／仲間を増やす)飲み屋で若者と友達に／小～中～高～先生～高齢者と友達に／子供の意見を聞く／友達になった子と一緒に何をするか考える…etc

●まちの小図書館

*本、限定したオモチャを集める
お店にそれぞれ本を置かせてもらって広場や公園で読むとか…公園、広場でイベント…etc

●イベントの実施

のど自慢／ファッションショー／ダンス／スポーツ…etc

●こちらから話しを聞きに行く

*きっかけアイテムが必要
遊び場や名所(桜、酒処)地図作り、名所巡り、／洋光台探検…etc

今、実行できること

Cyoiアクションパート1
桜マップづくり
&
若者に声かけ

*メンバーで、すぐに実践できそうな多世代交流のアイデアがでた。
後は、順番を決めてプログラムを考え実践を。
*実践からメンバー全員が学ぶ方法を考えていく必要が。

第4回B

Cyoiアクション
パート1・2・3？
の成果発表、課題出
し、改善策のアイデ
ア出し

パート4にむけての
アイデア出し→実行

パート2

パート3

テーマ別ワークショップ：A

「駅前活性化」
第1回記録

概 要

- 日時 : 2012年12月17日(月) 14:00～16:30
- 場所 : 洋光台中央団地・集会所
- 参加者 : 27名(地域のみなさん11名、大学生3名、行政・UR等13名)
- プログラム
- 14:00 開会・ガイダンス
- ・テーマ別ワークショップのねらい
 - ・第一回全体ワークショップ報告
 - ・本日のすすめ方
 - ・今後のスケジュールの概要 等
- 14:20 駅前地区まち歩き
- 15:10 集会所に戻り、発表・意見交換
- 16:15 まとめ・今後の予定
- ・次回テーマ「これからやってみたいこと」「コンセプト」について
 - ・「多世代近居まちづくり・担い手養成講座」について(神奈川県から)

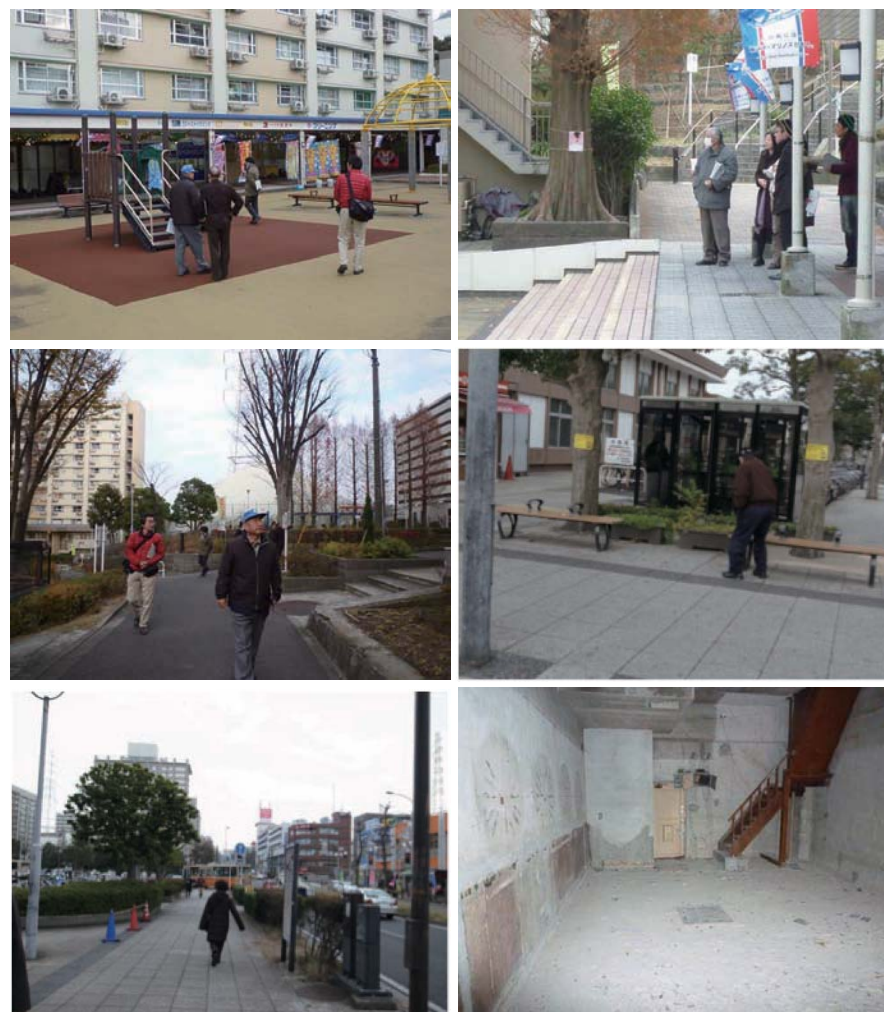
ワークショップのねらい

- 全体ワークショップでだされた「取り組みたいこと」は、駅前地区だけでも多岐にわたります。拠点づくり・広場の活性化・イベント・交通・商業の活性化・・・内容は盛りだくさんですが、それぞれ関連しています。
- 「テーマ別ワークショップA」では、様々な世代、様々な立場の方々が、お互いフラットな関係のなかで、意見・アイデアを出し合い、まずは「洋光台駅前全体」の「目指すべきイメージ・将来像」について、メンバーで共有していくことから始めます。
- 課題指摘や改善提案も〈あり〉ですが、あくまで「目指すべき将来像」にむけた要素のひとつとして取扱いしたいと思います。

※第1回WS配布資料より

駅前地区まち歩き

3つのグループに分かれて駅前地区を歩きました。駅前地区での「生活シーン」に着目して「生活者」「遊びに来た人」の視点でまちを眺めてみました。合わせて空き店舗の見学も行いました。



集会所に戻り、気付いたことをふせん(桃色:現在のいいところ、水色:現在の困ったところ、黄色:昔の思い出)に記入し、駅前地区の地図にみんなで貼りました。

ふせんの内容は裏面に書き移しています。これからのワークショップやまちづくりの参考になればと思います。



「駅前のいま、むかしの駅前」

まち歩きで気付いたことふせんを貼った大地図を囲みながら、普段の生活の中で「どこで何をしているか」「どんなイベントがあるか」「困ったこと」「昔の思い出」などに関して、意見交換を行いました。

学生が遊ぶ場所・手段がない。みんな駅に吸い込まれていく。ゲームセンター、コンビニ、マクドナルド、図書館などがあると駅に吸い込まれないのでは。

駅横の遊び場は子どもがちょっとだけ寄り道して遊ぶのに丁度良い(大きさも場所も)。

昔は噴水があった。人は水が集まるところにいくので水を復活させると変わるのでは。

駅前にコンビニがなく不便。住まいの場所と生活パターンによっては買物に便利そうで便利でないのでは。

緑豊かだったが落ち葉の掃除が大変で切ってしまった。今はあった方が良くと思う。

オリジンはいろいろなものを少しずつ買えるので、高齢者がかなり出入りしている。洋光台は高齢化しているから合っているかも。

駅前広場のイベント時の風景や賑わいが良いと思う。普段は誰もいない。

平日のこの時間に駐車場は満車で、他に停める場所もない。商店街にこれだけ商店があるのに、駐車スペースがないのがいちばんのネック。

昔は夕方市があり人々が自然と集まってきたが行政の指導で廃止された。この復活は駅前として非常に大切だと思う。

ベンチが独占されているので、そうならない雰囲気や仕組みのあるベンチが必要。

雑然としている方が商店街としては魅力があると聞く。若者風言えば「ドンキホーテ」感覚。今は整然としすぎているのかも。

カーシェアリングがあっても良いと思う。

道が広いのは良いが広場は階段や坂があり、目の不自由な方には歩きにくい。

広場に緑がなくグレーな感じになっているのが、昭和っぽくなっている原因。まちがグレー。

広い歩道があるので自転車専用通路があると嬉しい。マナーの悪さによる仲違いが出来てるように思う。譲り合いで良い雰囲気で暮らしていけたら。

もうちょっと華やかな色があった方が良くと思う。

ムクドリの中継地になっていてシーズン中はすごい。何らかの対策が出来ないだろうか。

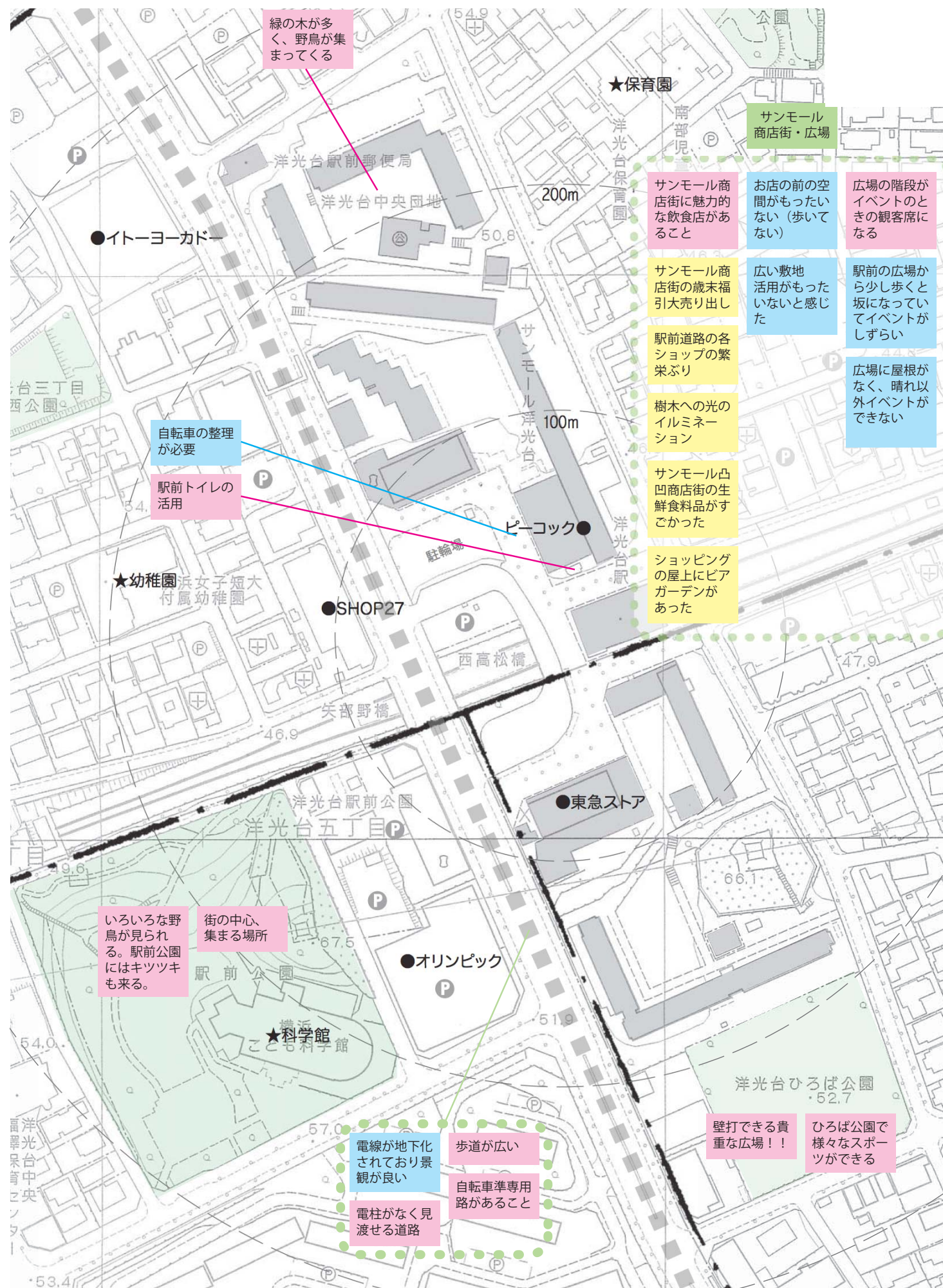
進行役より、「駅前地区で何がしたいか、何が出来るかを中心としたアイディア」「こういう感じにしようというコンセプト案(アド街ック天国風に)」を考えてきて下さいと宿題が出されて意見交換は終了しました。

■まち歩きで気付いたこと

現在のいいところ

現在の困ったところ

昔なつかし思い出



緑・風	通路	車	商業
風の強い日は 駅周辺が吹き だまりになる	段差が多く歩 きづらい	自転車で移動 する際、歩道 が狭い	シャッターの 降りた店舗
ビル風の強風	駅までの導線 が限られている	駐車場が少ない	買い物通路に 両側店舗が欲 しい
広場の中央に 木が少ない	商店街の道が 複雑	工事車両が団 地のいたると ころに駐車し ている	雑貨屋が無く なった
駅広に夏の水 辺・噴水がな いこと	店舗の通路が 広すぎる。 お店をもっと 前へ。	車をとめる場 所が少ない	店舗の2Fは 使用していな い人が多い
サンモール広 場のせせらぎ と緑豊かな樹 木	商店街の幅が 広く、お店に 立ち寄りにく く感じる	平日のヒマな 時間に駐車場 が満車。 駐車場が足ら ない。	店舗の2階の 活用
	高齢者に不便 な通路（段差 がある）		家族での買い 廻り
			店舗がごちん まりとしている ため、活気 がないように 見える
			学生はどこで 遊べば良いか がわからない

駅及び駅周辺
(南側)

駅前スーパーの横に大きすぎず小さすぎない子供の遊び場があり、園帰りの買い物時に良い	公園の回りに団地が立っていたので、子供を上から安心して見て遊ばせられた	東急ストア前の駐車禁止のコーン	ダイソー、マックが撤退したこと
公園があるが日当たりが悪い	赤ん坊の泣き声が聞こえたこと	ピーコック、東急ストアに買い物用自転車置き場がないこと	四丁目側にコンビニがなく、駅前も夜遅くなると店が閉まってしまい、帰りが遅い生活をしていると買い物が不便
公園に陽が当たらない	近所付き合いがあったのではないか。コミュニティがあった。	商店街に人が集まる店がない。食料品等。	駅近くにコンビニがないこと
公園の遊具がもっと量あっても良いと思った	人通りの多いのは何かが出来る始まり	商店が奥まっただけで目立たないし、入る気にならない	医院と薬屋がやたら多いこと
公園に人が少ない	子供、ベビーを含め若い層が少なく三代交流は名ばかり。公園は時期によっては悪党のたまり場になりがち。	空き巣が大幅に減ったこと	駅前に子供を預けられる施設がある
子供の庭（他の世代は入りづらい?）			
スロープがありベビーカーや車いすでも生活しやすい			

テーマ別ワークショップ：A 「駅前活性化」 第2回 記録

概 要

- 日時 : 2013年1月21日(月) 14:00～16:30
- 場所 : 洋光台中央団地・集会所
- 参加者 : 27名(地域のみなさん11名、大学生3名、行政・UR等13名)
- プログラム
 - 14:00 開会・ガイダンス
 - ・前回ワークショップ報告
 - ・本日のすすめ方
 - 14:10 宿題報告
 - ・これからやってみたいこと
 - ・駅前地区のコンセプト
 - 14:40 グループディスカッション
「20年後の駅前地区の生活シーン」
 - ・変わって欲しくないもの
 - ・変わって欲しいもの ・新たに欲しいもの
 - 15:50 全体ディスカッション
 - ・グループ発表
 - 16:10 まとめ・今後のすすめ方について
 - ・ワークショップの感想(学生より)
 - ・宿題「目指したい将来を一言で」

20年後はどうなっている？

駅前地区を「長い目で見てどうしていくか」を考えるために20年後を設定しました。「駅前の生活シーン」「駅前に行く目的」は20年後どうなっているのでしょうか？20年後は皆さんが想像しているよりももっと変化しているのではないのでしょうか？

時代の流れを予測・想像し、その流れの中で「変わって欲しくないもの」「変わって欲しいもの」「新たに欲しいもの」を考えていくことで、そのために「変えること」「変わらなくすること」「プラスすること」が見えてくると思います。

情報・考え方の共有	時代の流れ 予測・想像	変わっていきもの 長く変わらないもの
	希望・願い	変わって欲しくないもの 変わって欲しいもの 新たに欲しいもの
	意志・行動	どう変えるか どう変わらなくするか どうプラスするか

宿題報告「これからやってみたいこと」「コンセプト」

「宿題の記入をお願いします」…急にスタッフに言われてビックリした人もいましたが、第1回の最後にみなさんをお願いしていました。忘れていた人も、ちゃんとやってきた人もA3用紙に記入して、発表を行いました。

やってみたいこと「図書館をつくる」「ロータリーの改善」「コミュニティカフェ」、コンセプト「わたしの洋光台」「ちょっと見に行こう」等々、いろいろな提案がされました。(発表用紙の内容は裏面にあります。)



20年後の駅前地区の生活シーン

「洋」「光」「台」の3グループに分かれて20年後の駅前地区の生活シーンを想像しながら「どんな食生活になっているのか」「変わって欲しいもの」「変わって欲しくないもの」「新たに欲しいもの」について考え、発表しました。



「人と人とのつながり・交流、駅の機能は変わって欲しくない」「街の色が変わって欲しい」「自然・品の良さを活かした健康的な遊び場が欲しい」等々、洋光台の特徴を捉えた意見が出されました。(発表用紙の内容は裏面にあります。)

今後のすすめ方について

進行役の提案「今後は駅前地区をどう変えて行くかを主に考えていきたい」「お互いの意見を知るため、共通の意識で議論をするために、ワークショップ形式で進めたい」について同意が得られ、次回の宿題「目指したい将来像を一言で」が出されました。

大学生のワークショップの感想から今後のすすめ方について意見が広がり、Tさんの「わ(輪・和)」ができる洋光台になれば」というまとめがあり、第2回は終了しました。

もっと中学生、高校生といった若者に対してのアクションの方法を考えて良いと思う。小学生など子どもの意見も入れ、幅広い年代の意見を集めたほうが良い。

子育て中のお母さんや30代の働いているお母さんたちの意見も集めづらい。アンケートやホームページなどで意見を募集できないか。

いつになったら始まるのか。出来ることから(花を植えるなど、まちに色をつけること)ワークショップの中で30分くらいを使ってやった方が効率的に洋光台が変わっていけるのではないかな。

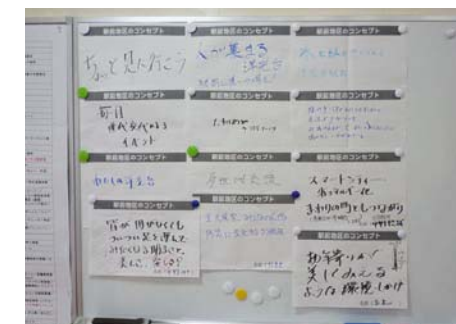
たくさん意見が出て来ているので、今後は事例の中で「洋光台はどうか」という勉強会も進めていけるといい。

洋光台に住んでいる学生の意見を聞く場がないか。若者が住みたくなるようなことは、若者に聞いてみないと分からない。

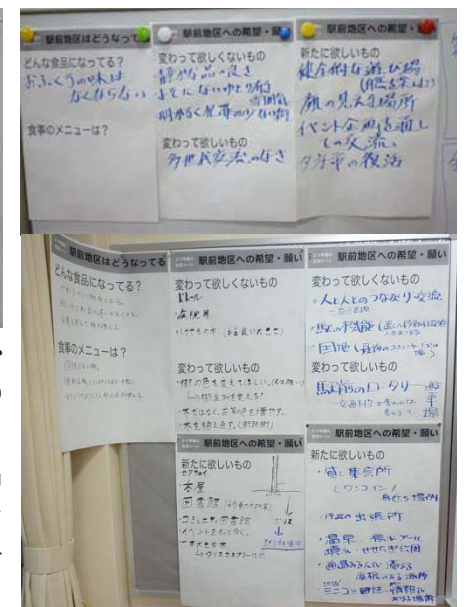
皆さんの代表としてこの場に参加している自分たちが、周囲の意見を持ってくることも必要。最終的にどのようなスケジュールを示して貰えるかで宿題にも熱が入る。

どう解決していくかは難しい。URが私たちがすぐ解決できることもあるかもしれない。

交流が本当に少ないと感じている。「わ(輪?和?)」ができる洋光台になればいい。



ワークショップでのみなさんの熱意・思い・考えを伝えるには、手書きの文字がいちばんなのですが、そのまま全部を載せることは残念ながら出来ません。裏面に書き移したものを載せていますので、発表の時の様子を思い浮かべながら読んで下さいね。



■「駅前地区でやってみたいこと」「駅前地区のコンセプト」：宿題報告

	駅前地区でやってみたいこと	駅前地区のコンセプト
1	週末に小コンサートなどのイベントを行う	ちょっと見に行こう
2	駅前に図書館を作る	人が集まる洋光台 ／ 駅前に集いの場を！
3	駅前に水を通し、元々ある緑と水で自然が感じられる場所にする	水と緑が感じられる洋光台駅前
4	活力の再生への手伝い	－
5	世代を越えた交流の場	毎月、世代交代によるイベント
6	相談機能、情報機能のある居場所、たまり場	たすけあう街づくり
7	地域の皆さんとのより活発な交流 ／ 家庭にとじこもりがちな人の啓発	緑は多い（木がある）とは言うものの水辺が少ないような。 砂場はあるが、犬、猫のしょんべんの場になり、いやがられている。
8	☆駅前広場で季節ごとのイベントを行う 2月…節分＝鬼踊り 3月…ひなまつり＝おひなさまに扮装して 5月…子どもの節句＝鯉のぼりの胎内くぐり など ☆みんなのサロン	わたしの洋光台
9	皆が集まれる場所づくり	多世代交流
10	楽しく！今までのベッドタウンのままでいいのか？と思う。 出店的図書館、カフェ。（区役所遠い、図書館遠い、表現の場が見えない）	まわりの町（港南台、本郷台、上大岡など）ともつながり、スマートシティー、省エネルギー化
11	コミュニティカフェと、イベントホール的な、住民が個性（生きがい、役割）を表す 場づくり	皆が、用がなくてもついつい足を運んでみたくなる明るさと美しさ、楽しさ！
12	駅前ロータリーの改善	－
13	太陽光、省エネ機器 ／ 駐車場立体化 ／ ロータリー改善 ／ 共有スペースの向上	全天候型みんなの広場 ／ 防災に変化する多機能
14	大学生が住み、語り合えるような場づくり	お年寄りが美しく見えるような環境、しかけ（水辺づくり）

■「２０年後の駅前地区の生活シーン」：グループディスカッション成果

	グループ	洋	光	台
駅前地区は どうなってる	どんな食品になってる？	おふくろの味はなくなるらない	・やわらかいもの多くなる ・統一化され、食の違いがなくなる ・栄養を考えたものが増える	
	食事のメニューは？		・個性のないもの ・便利なもの（インスタントなど手軽） ・オリジンのように一人用の店が増える	
駅前地区への 希望・願い	変わって 欲しくないもの	・静かな品の良さ ・よそにないゆとりある雰囲気 ・明るく犯罪の少ない街	・ドトール ・病院等 ・けやきの木（程良い大きさ）	・人と人とのつながり、交流-自己表現 ・駅の機能（遠くへ移動する拠点、人が集まる） ・団地（最後のコミュニケーションの場）
	変わって 欲しいもの	多世代交流のなさ	・街の色を変えて欲しい（今は暗い）→街並みを変える？ ・木ではなく、花等の色を増やす ・木を植え直す（街路樹）	駅前のロータリーと駐車場…交通手段が変われば変わる？
	新たに 欲しいもの	・健全な遊び場（自然を楽しむ） ・顔の見える場所 ・イベント企画を通しての交流 ・夕方市の復活	・セグウェイ ・本屋 ・図書館（移動のもの等） ・コミュニティ図書館 ・イベントをもっと多く ・一本大きな木→クリスマスツリーに！！ ・アメリカ（ミネアポリス）の噴水	・貸し集会所（ワンコイン/身近な場所） ・行政の出張所 ・温泉、温水プール、噴水、せせらぎ公園 ・通過する人がとどまる、屋根のある場所 ・地域ミニコミ誌…まちの情報が集まる場

テーマ別ワークショップ：A 「駅前活性化」 第3回記録

概要

- 日時 : 2013年2月25日(月) 14:00~17:15
- 場所 : 洋光台中央団地・集会所
- 参加者 : 30名(地域のみなさん12名、大学生1名、行政・UR等17名)
- プログラム
 - 14:00 開会・ガイダンス
 - ・3/17 地域シンポジウムのお知らせ(市より)
 - ・前回ワークショップ報告
 - 14:10 宿題報告
 - ・目指したい将来像を一言で
 - 14:20 全体ディスカッション
 - ・URの取り組み紹介
 - ・ワークショップのこれからについて
 - ・テーマの絞り込みについて
 - 15:00 グループディスカッション
「洋光台らしい○○」
 - ・○○の中身と実現するための具体的行動
 - 16:20 全体ディスカッション
 - ・グループ発表
- まとめ・今後について

URの取り組みとワークショップのこれからについて

今回はURより梅の里まつりでのパネル展示の報告と『URルネッサンス in 洋光台』の取り組みについての説明がありました。住民・行政・URが同じテーブルにつき、有識者のアドバイスを得ながら洋光台が末永く住みよいまちであるための検討を行う「洋光台エリア会議」をはじめ、みなさんに参加して頂いている「まちづくりワークショップ」等、多くの人々の参画によって、プロジェクトを進めて行く…そんな話がありました。(詳しくは配布した資料で確認して下さい)

また、まちづくりワークショップの基本的スタンスの再確認と平成25年度の進め方の説明がありました。次回のテーマAワークショップは5月(連休明け)頃を予定しています。引き続き、よろしくお願いします。

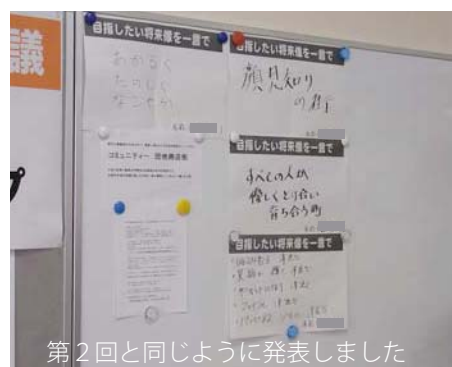
宿題報告「目指したい将来像を一言で！」

第2回の最後に提出された宿題ですが、今回はやってこられた方のみ発表して頂きました。「一言で！」と進行役は簡単に言ってましたが、とてもじゃないけど一言では表せられないということで、しっかりと資料を作成してこられた方もいらっしゃいました。

「あかるくたのしくなごやか」という軟らかい内容から、施設誘致や交通アクセスの整備といった硬い内容まで、それぞれの考えが報告されました。(発表用紙の内容は裏面にあります。)



宿題をやってきた人は手をあげて…



第2回と同じように発表しました

テーマの絞り込みについて

進行役より、「ワークショップでは、ここに集まったみなさんと、ここでしか出来ないことを考えて行きたい。そのためテーマを絞って考えて行くことは出来ないか。」という提案があり、テーマを絞るためのたたき台として「えん」の考え方等が提示されました。(ひとつのテーマだけ考えるのではなく、ひとつずつ順番に考えていくイメージです。)

「えん」については、これまでに出了多くのテーマや意見、これから考え・行動すること、そして参加している人が「つながっている」ことを共通認識するためのキーワードとして「縁」を中心とした複数の「えん」を出して、まずはこれまでの意見を入れ込んでみた資料です。



また、これまでのテーマAワークショップで出てきた駅前地区に係る要素と今後のワークショップについての図(裏面にあります)の説明がありました。駅前地区に係る要素の中から、テーマをひとつに選び、グループで具体的な行動等を検討する予定でしたが、全体で議論することが難しかったため、テーマを選ぶところから各グループで行うことになりました。

グループディスカッション

「何を考えるにしろ『洋光台らしさ』を念頭に置きながら考えた方が良い」という提案があり、今回は「駅」「前」の2グループに分かれて『洋光台らしい○○』について、○○の中身とそれを実現するための具体案について考えました。



全体ディスカッション

グループディスカッションの後は、グループごとに考えた内容を発表しました。ここでは各グループの発表内容の一部を紹介します。(発表用紙の内容は裏面にあります。)

駅 まちづくりには「政治力」と「お金」が必要。抜本的に変えれば人が集まり『よどむ』。中央広場によどめる場所があれば、人の集まる場になり、商店街も繁栄する。URは今のスペースを改良して1, 2階に人を集める運営を。北と南を一体に。コミュニティカフェでのまちや人の情報集積と発信。居酒屋が無い、時間が限定されている。学生の集まる場としての小規模スポーツ施設。畑を作り人をよどませよう。体験型テナント。主婦層から見ると何も事が済まない駅。商店街の店舗の再構成。

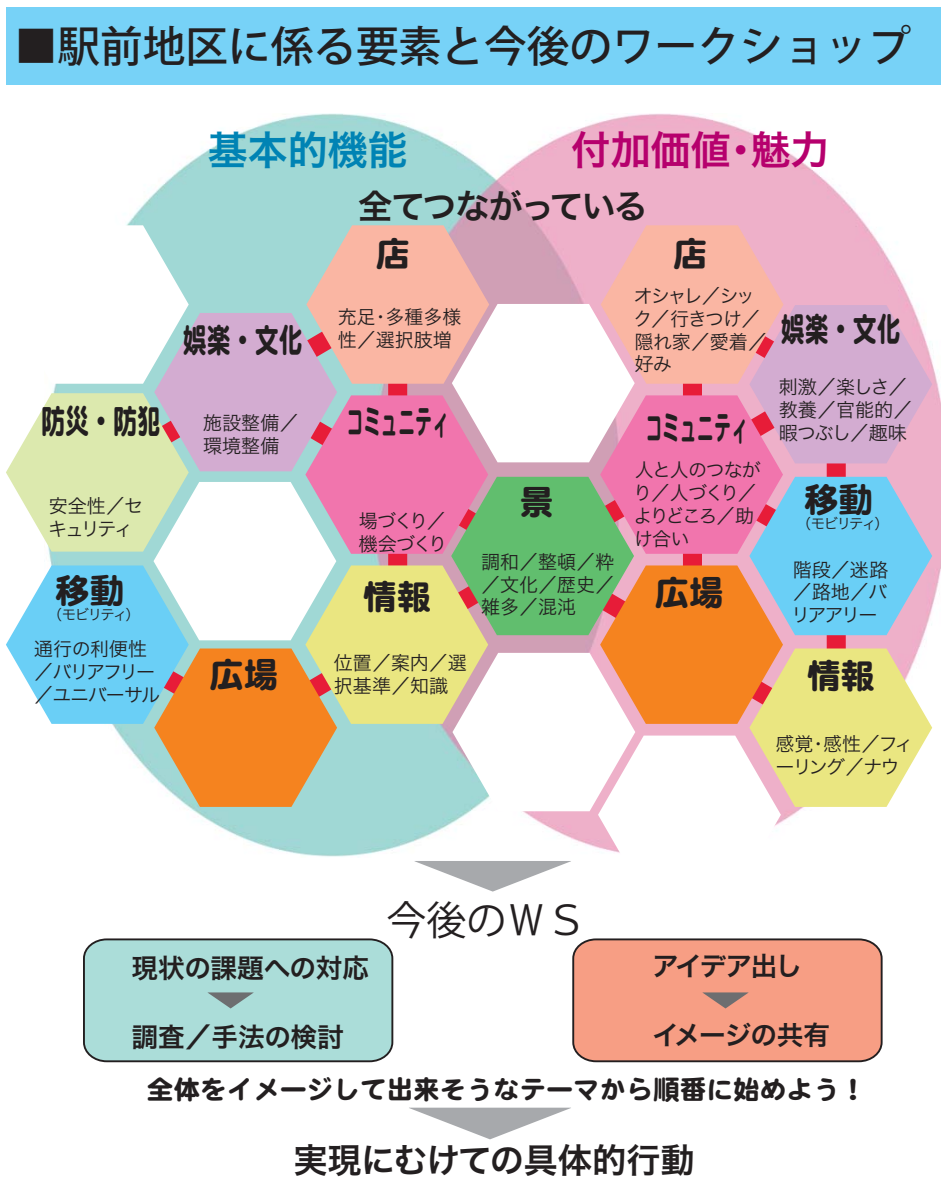
前 サンモール広場=サンマルコ広場の伝説?! シンボルとしての塔や教会、噴水を作り人が集まるセレモニー広場に。アーケードの半分は造作可能に。「命を感じられる広場」にするため緑(花や壁面緑化)と音風景を。緑等生きているものはみんなで面倒を見る。「高齢者が綺麗に見える広場」: オシャレをしないと出て行きづらい雰囲気。花壇などは身近で出来ること。ヨーポポという妖精が住む街洋光台? 駅前のケヤキは役目を終えたので植え替えベンチや遊具などに再利用。姉妹都市づくり。



「駅」は「洋光台らしい」は難しいと無くして考え、「前」にはヨーポポが登場していました。メンバーによって、さまざまな考えが出てくるのが、ワークショップの面白いところです。3月10日の全体ワークショップでこれまでの報告を行うことを確認して、第3回テーマAワークショップは終了しました。

■宿題報告「目指したい将来像を一言で」

- ## ■駅前地区に係る要素と今後のワークショップ



■「洋光台らしい〇〇」:〇〇とそれを実現するための方法

駅グループ

お金
政治！！
URの工夫で
よどむ！！
・集まる
・とどまる
北と南をつなげる
コミュニティカフェ
・なごむ
・話しができる
・情報！！
行政のランチ機能
飲食の場（夜も）
スポーツ
畑だ～！！（広場に）
体験型のテナント、工房を！！



前グループ

洋光台らしい雰囲気
サンマルコ広場（ヨーロッパ風な）
シンボルを作ろう！

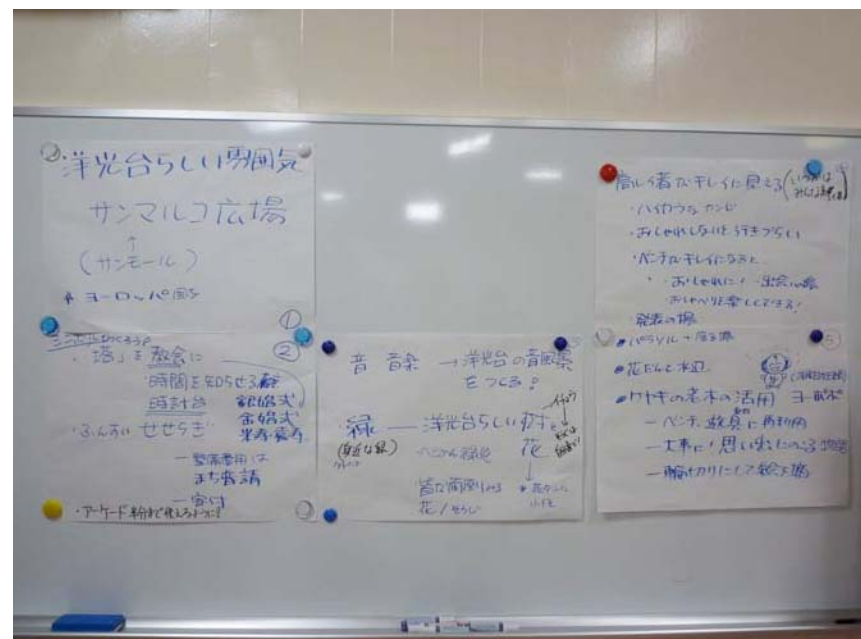
- ・塔を教会に → 銀婚式、金婚式、米寿、喜寿
- ・時間を知らせる時計台
- ・噴水、せせらぎ

整備費用はまち普請と寄付
アーケードは半分まで使えるように！
音、音楽 → 洋光台の音風景を作る！
緑（身近な緑） → 洋光台らしい樹と花

- ・樹：イチヨウ → 掃除は自分達で！
- ・花：花壇に小径 → 皆が面倒をみる

高齢者がキレイに見える（いつかはみんな高齢者）

- ・ハイカラな感じ
- ・おしゃれしないと行きづらい
- ・ベンチがきれいになると
→ おしゃれに！
→ 出会いの場
→ おしゃべりを楽しくできる！
- ・発表の場 ・パラソル＋座る場・花壇と水辺
- ・洋光台の妖精 ヨーポポ → 
- ・ケヤキの老木の活用
→ ベンチ、遊具（動物）に再利用
→ 大事に！思い出に残る物語
→ おしゃべりを楽しくできる！



テーマ別ワークショップ：B 「コミュニティ活性化・多世代交流」 第1回記録

概要

- 日時 : 2012年12月18日(火) 14:00～16:30
- 場所 : 洋光台北団地・集会所
- 参加者 : 37名(地域のみなさん21名、大学生1名、行政・UR等15名)
- プログラム
 - 14:00 開会・ガイダンス
 - ・テーマ別ワークショップのねらい
 - ・第一回全体ワークショップ報告
 - ・本日のすすめ方
 - ・今後のスケジュールの概要 等
 - 14:15 「多世代近居まちづくり・担い手養成講座」について(神奈川県から)
 - 14:20 自己紹介「洋光台との関わり・まちでの活動など」
 - 15:30 休憩
 - 15:40 ディスカッション「若者との交流」
 - 16:10 まとめ・今後の予定

ワークショップのねらい

進行役(ディーワーク中川)より、テーマ別ワークショップ「コミュニティ活性化・多世代交流」の成果イメージの説明を行いました。

■仲間がいるんだあ…

という感じを共有できれば
安心感、心強さ、モチベーションアップに

■多世代交流のヒントが見つかるといいなあ

経験とアイデア
を出し合い共有

試行的に実施
(ノウハウ蓄積)

■こまったときに助け合える関係ができるといいなあ

今回の出会いを通じて2～3人、
5～6人の仲間を得る

■協力し合うことでよりよい活動、新たな活動ができるといいなあ

キーパーソン同士
がつながる方法を見つける

試行的に実施
(ノウハウ蓄積)

自己紹介

大きな地図に「住まい」「活動場所」のふせんを貼りながら、1人3分程度で洋光台との関わり、活動内容、問題意識、自己PRなどを交えて、自己紹介を行いました。



「助け合いのNPO」「隣町でタウンカフェ」「サロン活動」「まち協」「親子ひろば」「絵本の読み聞かせ」などなど、多彩な活動が紹介されました。

完成した地図を見ると、みなさんのお住まいや活動場所は駅より南側に多く見られました。(左下の写真でも分かります)

洋光台全体を考えながら

洋光台の地図に半径200mの複数の円を描いた大きな図を提示しました。半径200mは徒歩での移動を、円の中心はコミュニティの場になりそうな場所をイメージしました。洋光台全域をカバーするには沢山の円が必要です。

でもバスの利用など移動手段が変わると円の大きさや数が変わります。どれも大切ですが、今回のワークショップではどのようなコミュニティを考えるかの議論も必要です。



「若者との交流」について

多世代交流のなかでいちばん難しいと思われる「若者(高校生以上)との交流」についてディスカッションを行いました。(※印は進行役の発言です。)

若者が使っているものをこちらにも知る必要がある。(ゲーム・携帯電話など)
電源が取れて無線でインターネットがあれば、若者が呼び込めて、交流拠点になりえる。

交流が長続きするためには「共通のテーマ・話題」が必要。
ボランティア活動で防災について取り組んでいて、大学生との交流がある。

※会話の必要性を作ることは重要なポイント。行動を共にするなど、共有することも必要。

少年野球OB(中高生)に地域のことも一緒にやろう、考えているという話が出るきっかけにしたいと思い、キャンプ等の集まりをしている。
大人側が「今の若者は…」と構えないでもっと気軽に話が出来ると良い。
「諦めずに声をかける」ことを積み重ねていく。「集まらないから辞めよう」ではなく、諦めずにやっていく。

若者に対して両手を広げて待ってられる場所(拠点、事務局のようなもの)が必要。まちに対して何か考えたいと思った時に行く場所がないと立ち話で終わる。
考えを集約・整理する仕掛け(静)と活動して動く(動)のバランス。

動きを伴う真剣なお祭りを自分たちの将来のため、希望・未来のために祈りを交えてやっていく(例えば神社のお祭りのようなもの)。大人の真剣さ・一生懸命さは子ども達にも伝わる。その中に多世代が感動出来るものが生まれる。そのつながりの中で無礼講の日も組み込まれてくる、ただ真面目に集まるだけでは繋がれない部分がある。

携帯の使い方をたむろしていた若者に教えてもらった。パソコンの使い方も意外と教えてくれる。
電飾デザインを小学生が考え、セッティングを1年かけて中高生が行う事例を見た。そういったことも交流になるのでは。

今の高校生・大学生は「人の役に立ちたい」という気持ちがある。
洋光台のまちづくりに若者も関心があると思うが忙しい。
そういう子を集めるためには「居場所になる場がある」「何か得られるものがある」部分が必要。

「洋光台塾」: 駅前空き店舗を使い、人生経験が豊富な高齢者とその経験を享受したい若者をつなぐ。

「フリー」束縛されたくない。
「図書」電子化された本や音楽、ゲームも図書。ここに若者がいけばお金を使っている。
「学び」色々なことを吸収したいと思っている人が多い。
この3つのキーワードを結びつけた場では、自然と会話の必要性が出てくるのでは。

※若者を呼び込む必要性を感じている方が多いが、そこに多世代交流をくっつける必要性がボンヤリしているように感じます。なぜ高齢者が若者と接しなければならぬのか、どのくらいの接し方が居心地が良いのか(もしかしたら眺めているだけで良いのかも? 濃くなりすぎるとこちら側も苦しくなる?)を今後クリアにしていければと思います。

テーマ別ワークショップ：B 「コミュニティ活性化・多世代交流」 第2回 記録

概要

- 日時 : 2013 年 1 月 22 日 (火) 14:00~17:20
- 場所 : 洋光台北団地・集会所
- 参加者 : 31 名 (地域のみなさん 17 名、行政・UR 等 14 名)
- プログラム
 - 14:00 開会・ガイダンス
 - ・本日のすすめ方
 - 14:25 グループディスカッション
 - ①若者も行きたくなる場
 - ②若者も参加したくなる活動
 - ③実行したいこと (ひとつ)
(グループごとに休憩)
 - ④具体的空間イメージ、続ける方法
(実行したいことについて)
 - 16:20 全体ディスカッション
 - ・グループ発表
 - 17:10 まとめ・今後の予定

若者との交流「会話できる環境」

「若者と交流できる、会話出来る環境はどういう場所・活動なんだろう?」、「若者に『良い』と言ってもらえるものってどういうもの?」を考えるためのヒントとグループディスカッションのすすめ方について、進行役より写真等を使ってガイダンスがありました。若者が『良い・好き』と思った時に言う言葉の紹介もあり、「こういう言葉を若者が言うようなこと (場・活動)」についてグループに分かれて考えることになりました。



好き、オシャレ、かわいい〜
いいかも、落ち着く〜
いやされる〜、いい感じ!
楽しい、ヤバイ、超ヤバ!
似合ってる、私の居場所って感じ

若者が「良い・好き」と感じた時に使う言葉の例を進行役が集めました。

グループディスカッション

「い」「ろ」「に」「ほ」「へ」の5グループに分かれて(「は」グループは人数不足で他のグループに編入) グループディスカッションを行いました。

今回のグループディスカッションは、グループの人数が4〜5人とこれまでのワークショップ(全体、テーマA・B)の中で最も少ない人数で行いました。これは、参加している人全員がたくさんのアイデアや意見を出すため、参加者同士がお互いの考えを良く知るためです。そしてリラックスして会話出来るように各グループにお茶とお菓子も用意しました。



「い」グループ



「ろ」グループ



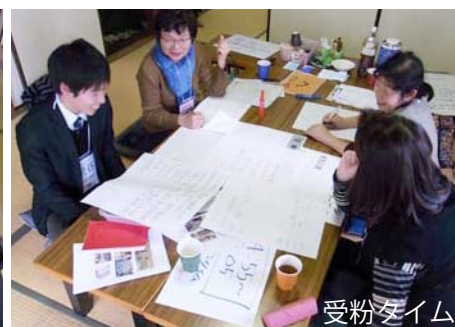
「に」グループ



「ほ」グループ

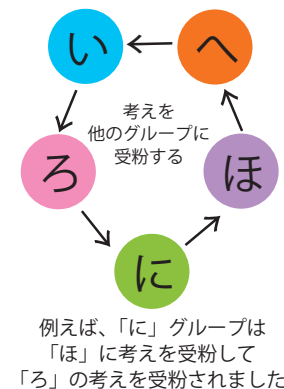


「へ」グループ



受粉タイム

さらに今回は「受粉タイム」を設けました。「受粉タイム」とはグループの1人が他のグループに行き、自分のグループの考えを伝え、他のグループの考えを聞き、自分のグループでその考えを伝える時間です。この時間により、新たな考えが生まれたり、これまでの考えがより深まったと思います。



全体ディスカッション

長いグループディスカッションの後は、グループごとに考えた内容を発表しました。ここでは各グループの発表内容の一部を紹介します。(発表用紙の内容は裏面にあります。)

い 近隣の高校に声かけをして、高校生主体のイベント(ブース・模擬店を出してもらう)を行い、地域との関わり方をまず知ってもらう。まずは若者がやりたいことが中心で、大人は周りでサポートしていく。とにかく集まってもらわないと若者が何に魅力を感じているのか分からないので、集まってもらうことから始めようということ。考えの出発点は自分たちの世代が参加したくなる場等を考えるのは大間違い。若い人の意見を取り入れて動くべきだと思う。

ろ 企画から開催までのプロセスを一番大事にして、そこで共同作業ができるイベントやお祭りなど大きいものがあれば、若者も自分の持っているアイデアを発揮できる場にもなり、多世代交流という目的にも良いということで、将来、洋光台の伝統となるものを創り上げていきたい。伝統的なものから流行りのものもあり、衣装の作成などで、いろんな世代が関わって、融合していきたい。スペースは最小で駅前広場。夢はふくらんで南公園から西公園まで3号線を練り歩くイメージ。

に 若者は20代、大学生や若手の社会人で、平日は夜しか戻ってこないが、休日やお祭りの日はたくさんいるイメージ。若者も行きたくなる場のひとつは「遅くまで営業している店」。『Cafe もざいく』…基本はカフェやバーだけど、多様な活動があり、参加者は店長もできる、夜遅くまでやっている、情報や活動、運営スタイルも色々あり、ごちゃっとしたカフェのイメージ。その結果、洋光台のブランドを生み出せるようなことをしたい。情報基地として情報誌を発行したいという想いもある。

ほ 若者も行きたくなる場は、時間を気にせずにいられる、おしゃれな、オープンな(集まる人も、運営する人も)、情報が集まる場。興味がないことでも、すごいのではとお互いが認め合える活動が、若者も参加したくなる活動なのでは。一人一人に役割ができ、やりがいを感じることが年齢に関係なく必要。実行したいことは「若者運営カフェ」。若者の活動時間外は中高年でやっていく。ほぼ無休、いつ行っても開いている、受け入れてくれる状態が望ましい。利益を生む仕組みも必要。

へ 若者は高校生から20歳くらいのイメージ。実行したいことは「まんがネットカフェ」、まずは若者に来てもらう場所を作り、そこに中高年やその他の世代が入っていくという逆の発想。節約志向が強く合理的な人が多いが、その中でもお金を使う部分だろうと思う。プラス自己表現出来るオープンステージでイベントとしてライブやダンスをやる。場所は中央団地の空き店舗。イベントは時計のある広場でやり、しまっておいたテーブルやパラソルを出して、イベントとカフェスペースが徐々に繋がっていければ良い。



爆笑が起きた発表も

終了時間が大幅に過ぎてしまい、すみませんでした。次回以降は『「行動をおこす」ことを前提に何をしたら良いかを考えましょう』という進行役のまとめで終了しました。

■「若者と会話できる環境」の具体的イメージ：グループディスカッション成果

グループ			い	ろ	に	ほ	へ
① 若者も行きたくなる場			マックのような気軽に集まり自分のやりたいことを語れる「場」	・カフェ ・図書館 ・多目的に使える貸しスペース ・夜も営業しているレストラン	・遅くまで営業している店 ・↑いくつかあると良い（はしご） ・広さ：この集会所くらい ・入りやすい ・音楽スタジオ ・バー ☆若者とは… 20代：・平日は夜だけ ・祭りにはくる	・時間を気にせず話せる、おしゃれな、学食的な場所 ・形もオープンで、集まる人達もオープンな人柄 「人は人に集まる」 ・情報が集まる場	<イメージ> 高校生～20代前中心 <行きたくなる場> ・友達のいるところ ・同年代で集まるところ ・たむろする（マンガ喫茶、フェイスブック） ・小中ならお祭りは来るが、高校生以上は友達がないと来ない ・自分が興味あるものをしているところ（サッカー、野球場、コスプレ会場など）
② 若者も参加したくなる活動			・洋光台の新しい伝統となるようなイベントを作りあげていく活動 ・若者がやりたいことを大人がサポートする	・若者の持っている知識を披露する活動 →パソコン、スマホ教室 ・夜や土日にもあるサークル活動（アロハ、いけばな等現在あるものも土日にあれば…） ・スポーツサークル →サッカー、野球、フットサル ・開催までのプロセスで共同作業ができるイベント、お祭り（例）音楽、ダンス	・お祭りには良く来る ・地元の人々に会える ・夜遅くまで遊びたい ・自分たちだけでやる ・まちづくり活動（参加させたい活動） ・バーの経営 ・↑お試しでできると始めやすい ・ライブ ・洋光台ブランドづくりへの参加	・自己表現活動（音楽、スポーツ） ・認め合う活動 ・若者が企画、運営できる活動（カフェ、バー） ・得るものがある活動（やりがいがある、役割がある）	・音楽、ダンス等を自己表現できる ・オープンスペース、路上ライブ ・オープンカフェ ・ミニ図書館、まんが
③ 実行したいこと			高校に声かけをし、イベント参加 ・南陵高校 ・磯子高校 ・磯子工業高校 ・氷取沢高校 高校毎でブース（模擬店）を出してもらう	将来、洋光台の伝統となるようなお祭りを企画から開催まで お祭り→音楽、ファッション、踊り等の融合が実現できる	『Cafe もざいく』 ・カフェバー、情報基地 ・多様な活動 ・店長もできる ・夜遅くまでやってる →洋光台のブランドを生み出す	若者運営カフェ	◎まんがネットカフェ ・自己表現できるオープンステージでライブ、ダンスイベント
④	具体的空間イメージ	年間スケジュール・オープン日	夏のイベント開催 3月末から企画し月2回で集まる	月1回会合、10月頃開催	週1休み 9：30～26：00	ほぼ無休 8：00～24：00	火、木、土、日 15：00～19：00 イベント年10回（1月、11月なし） 月末の土曜日
		参加人数	各学校複数人（ボランティア部、生徒会、有志）、 WSの参加者、町内会	たくさん	3グループ／15～20人+10人＝30人 →100人／1日		
		スタッフ人数	10人位（事務局） 登録人数20人位	65人	1日常時3人×2ローテ（AM・PM） 夜はレンタル	20人（1日6人）	・1日2人4時間×2 ・イベント：1日3人4時間
		最小スペースの大きさ	北団地、中央団地の集会所位（60㎡位）	駅前広場	3グループ活動したい ライブやりたい →洋光台北団地集会所くらい	80㎡	空店舗1つ約20坪
		場所の特徴		人が多く行き交い、集まれる	・遅くまで営業（～26時） ・ライブができる ・居心地良い ・テラス席あり ・情報ステーション	・駅の真正面 ・3階建 ・ガラス張 ・木に囲まれている	一人でも楽しめるし、みんなでコミュニケーション
		設備	机、イス	審査会場	・防音 ・スピーカー（音響） ・カフェバーのためのキッチン	・簡易なキッチン、冷蔵庫 ・バックヤード	パソコン、テーブル、イス、本棚、カウンター、 自販機
		備品	お茶菓子 打ち上げ用の飲み物（バーベキュー）	音響機材	イス、テーブル、カフェセット	テーブル、イス、オーディオセット、プロジェクター、パソコン	イベント用テーブル、パラソル、イス、音響
		その他		トロフィー、賞品、投票用紙		本（雑誌、絵本）、情報誌	
	続ける方法	スタッフの役割分担・ローテーション等	・原資をどうするか 1. URから 2. 寄付（商店街等） ・スタッフの人件費をどうするのか（ボランティア？） ・NPO化 ・高校生、若者がメリットを感じるもの	自治会単位で競えるように→運営ノウハウを継承		・1日3交代（朝、昼、夜） ・利益を生む仕組みを考える（小箱ショップ、貸しスペース） ・周辺企業の協力を得る	<役割分担> ・まんが図書の仕入れ管理：KK ・経理：ST ・運営、店長：SN ・イベント、広報：KR <ローテーション> KR：木、日 ST：土、日 SN：火、土 KK：火、木
		スタッフの世代交代の仕方			多世代で運営→徐々に入れ替わる	常に若者を入れる	・利用者にスタッフになってもらう ・メリットは、タダで時間外使える
		スタッフのコミュニケーション			ミーティングこまめ	・お客さんとして来た人で興味のある方にスタッフになってもらう ・お客さんとの会話を大切にする	ミーティング1ヶ月に1回
その他					スタッフミーティング		
⑤ ④を実行する連携方法		今日のグループで連携 洋光台での連携				商店街との連携	

テーマ別ワークショップ：B 「コミュニティ活性化・多世代交流」 第3回 記録

概 要

- 日時 ：2013 年 2 月 26 日（火）14：15～17：10
- 場所 ：洋光台北団地・集会所
- 参加者 ：37 名（地域のみなさん 19 名、大学生 1 名、行政・UR 等 17 名）
- プログラム
- 14：15 開会
 - ・UR の取り組み紹介
 - ・3/17 地域シンポジウムのお知らせ（市より）
 - ・ワークショップのこれからについて
- 14：25 全体ディスカッション
 - ・「えん」の考え方について
 - ・前回のおさらい
 - ・今回のテーマについて
- 15：20 グループディスカッション
 - ・「Cyoι アクション」の具体的内容
- 16：15 全体ディスカッション
 - ・グループ発表
- 17：00 まとめ・今後の予定

UR の取り組みとワークショップのこれからについて

今回はURより梅の里まつりでのパネル展示の報告と『UR ルネッサンス in 洋光台』の取り組みについての説明がありました。住民・行政・UR が同じテーブルにつき、有識者のアドバイスを得ながら洋光台が末永く住みよいまちであるための検討を行う「洋光台エリア会議」をはじめ、みなさんに参加して頂いている「まちづくりワークショップ」等、多くの人々の参画によって、プロジェクトを進めて行く…そんな話がありました。（詳しくは配布した資料で確認して下さい）

また、まちづくりワークショップの基本的スタンスの再確認と平成25年度の進め方案、次回日程案の説明がありました。



「えん」の考え方について

これまでに出了多くの意見、これから考え・行動すること、そして参加している人が「つながっている」ことを共通認識するためのキーワードとして『縁』を中心とした複数の「えん」を考えてみました。今後のまちづくりの役に立つものになるように整理して、全体ワークショップ披露したいと思います。



Cyoι アクション

「cyoi」って何だ？と悩んだ方が多いと思います。「Cyoι」は「ちよい」です。今回は、ここに集まったメンバーで実行出来ることを考えたい。でも、常時使える場所はないし、資金もないらしい…。そんな中で実行出来るのは「ちょっとしたこと」。それを「Cyoι アクション」と名付けました。同人誌の即売会、コスプレイベント、梅干し飛ばし？？…地域（洋光台）ルを守って、時には少しルールを変えたり、自分たちの考えを変えたりしながら、すぐに出来る「Cyoι アクション」をグループで考えることになりました。

Cyoι アクションの狙い
会話だけでは分からないことが多いし、確信が持てないなあ。それを解決するには実践（アクション）してみるのも一つの方法かも。実践で学び工夫していこう！

グループディスカッション

「多」「世」「代」の3つのグループに分かれ、自分たちで実際にできる「Cyoι アクション」の内容とやり方、参加者、やる時期等を考えました。全体ではシーンとなることも多いですが、グループでは活発な意見交換が行われました。



全体ディスカッション

グループディスカッションの後は、グループごとに考えた内容を発表しました。ここでは各グループの発表内容の一部を紹介します。（発表用紙の内容は裏面にあります。）

多 「まちの人探検」。ポイントは「人」。若者がいそうな飲み屋に行き、雑談して交流する。その他にも小学生、学校の先生、高齢者など、色々な場所に出かけておしゃべりしてみる。想像で決めずにリアルな子ども、リアルな若者、リアルな高齢者を知る。それが第一歩で、その先は色々なことが見えてくるので、その中から見えたことを次のステップにつなげていく。押しつけではうまく行かないので、自分たちを見てもらって来たいと思った人には来てもらうぐらいのさじ加減で考えている。

世 駅前広場を使った案が色々。のど自慢大会、高校生などを含めたライブ、ちょっとしたファッションショーに孫と参加する、ダンス大会など。広場を借りて北側に子育て世代のママ達等が集まる場を作る。多世代を意識した取り組みをしたい。まず若者の声を聞いたらどうか。子ども達とあちこち歩いて遊び場マップを作る。北団地以外にも桜が綺麗な場所があるはずなので桜マップを作る。若者、ジュニア、シニアなどたくさんの人がいるので話を聞こうがグループのCyoιにつながった。

代 本や限定したオモチャを集め、いずれはまちの小図書館や広場で集めたオモチャを使ったイベントを。洋光台に図書館がないことがずっと気になっていた。本があると人が行き交ったり、本を間に人が交流出来る。「Cyoι」なので、自分たちで持ち寄ると、洋光台内のイベントに便乗して広報して集める。私たちがちょこっと出来るのは、チラシを作って家の周りに配る、公共施設に置かせてもらう、掲示板に貼ること。本等は置き場が必要なので、そこだけはUR等に協力をお願いします。



最初のCyoιアクションは…

桜は時期がすぎると1年待たなければいけない、飲みに行くのは今日にも出来る、でもそんなに集まる回数もとれない等の議論の末、来年向けの桜マップを作成するために、桜の場所を探して歩き地図を作り、終わったら一杯飲むという2つをくっつけた欲張りなCyoιアクション案が生まれました。実行日は桜前線の様子を見ながらということで、進行役が3月10日の全体ワークショップで日程を確定させた案を作成してくるようになりました。全体ワークショップでは、これまでのテーマBの流れと今後についてを発表することを確認し、第3回ワークショップは終了しました。

■今、実行できる「Cyoいアクション」(具体的に)

多グループ

●『まちの人探検』

- ①飲み屋で若者と友達になる
→ 友達の友達を広げる
- ②小学生+中学生+高校生+先生と友達になる
→ 中・高生はすぐ若者に！
- ③高齢者も！
→ あらゆる世代

目的

- ・情報収集
- ・仲間を増やす
- ・知らない人でなくなる、怖がられない

若者が集まりそうなアヤシゲな店にあたりをつける

- 「秘密基地」、「g-in」
- 警戒されないために
 - ・テーマ、シナリオを言わない
 - ・一緒に楽しむ
 - ・目的は情報収集

来る者は拒まずで、仲間になる人はなる
こわがられないように！

●「子供」の意見を聞く

先生とも仲間になる
「ナナメ上にいる大人」が重要！

- ・それが地域の人
- ・今は親、先生がソレ

今でもやっている人

- どんどんやる

縁がない人は

- 知ってもらうだけで充分第一歩
- ムリしてやらずとも！

●友達になった子と一緒に何をするか考える

- ・答えを用意しない
- ・本音で話す
- ・疑問には答える
- ・「気付き」を引き出す
- ・見る視点が違うので発見がある

世グループ

- のど自慢大会
(高校生等と) Live
- ファッションショー in 広場
→ ちょっとしたオシャレ、季節
- ダンス大会 (多世代)
- スポーツ (野球、フットサル、etc)
- (北側に) 子育て広場
→ 平日昼間子育て・多世代
- 若者に話を聞く
→ 磯子ジュニア、シニア等、学童 (3月頃)
- 子育て層
- ☆こちらから話を聞きに行く

<話すネタ>

- ・イベント等 (の感触)
- ・子供の遊び場、洋光台の名所地図作り、巡り
→ 酒も！桜
- ・洋光台探検

代グループ

内容：本、限定したオモチャを集める
→ プラレール、レゴ、トランプ

↓いずれは…

本 → まちの小図書館
お店にそれぞれ本を置かせてもらい
広場や公園で読むとか…
オモチャ → 公園、広場でイベント

方法：洋光台のイベントで集める

- 3/30、6/2、7~8 夏祭り

PR：・イベントで

- ・各自治会広報誌に載せてもらう
- ・ちらしを作って (A4) みんなで配る
(区役所、学校に置いてもらう)
- ・掲示板

置く場所は…

とりあえず中央団地の集会所に置かせて！！

UR、自治会長お願いします

